

小川で流水実験 自然の力を実感

道教大付釧路小児童

【阿寒湖温泉】道教大付

属釧路小の5年生が9日、小川で水の流れを調べる授業に挑戦した。写真。児童たちはボールを小川に流して実験し、自然の力を感した。

阿寒湖畔の森林を所有・管理している前田一步園財



団と同校が協力し、2011年度から実施している環境教育プロジェクトの一環。この日は5年生の1クラス計32人が参加した。

児童たちは阿寒湖畔に注ぐチップ川で実験した。川のカーブの内側と外側で同時にボールを流し、内側の流れの方が遅いことを確かめた。その上で同財団の山本光一自然普及課長から「流れが速いのは水の力が強いということ。外側は土が削られ、流れてきた土は流れの弱い内側にたまる」と説明を受けていた。

淵本貴大君(11)は「思ったよりも土が削れる量が多かった。大学生になったら水の原理を使って何かやってみたい」と興味を持っていた。

(鈴木誠)